

進路だより

平成28年12月21日
大阪府立守口支援学校
進路指導部 発行第2号

☆後期現場実習

高等部3年生で、卒業後の就職や通所を前提に行うのが現場実習です。1年生2年生で行ってきた職場実習や体験実習とは違い、現場実習はその会社で就職することをめざして、今までの学習の成果を発揮する場です。この実習では、自宅から直接作業所や会社に通い、働くことを体験します。バスや電車などの公共の乗り物も使います。期間も3日から長い生徒では2週間に渡る場合もあります。何より学校と異なる環境で仕事をするようになりますが、緊張もかなり高まる中で、「この会社で働きたい。」「こんな自分になりたい。」という思いを持ち、新たに気持ちを引き締めて実習に参加することができました。その姿勢は、今までと比べとても大きく成長したものでした。

いよいよ卒業が近づいています。社会に羽ばたくまであともう少し。卒業を迎えるその時まで、学校の中でできる限りの力をつけていってほしいと思っています。

☆後期体験実習

高等部2年生は、後期実習期間に企業や守口・門真市内の福祉事業所へ体験実習に出ました。

Bコース(職業自立コース)の生徒は企業や福祉事業所での体験実習を2週間行いました。実習先はニトリ、アートコーポレーション、エルアイ武田、フーズマーケット佐竹、門真ワークプレイスです。それぞれの目標達成に向けて実習に取り組みました。Aコース(生活自立コース)の生徒にとっては初めての体験実習となりました。学校からスクールバスあるいは徒歩で実習先に行き、主に軽作業やレクリエーション活動等を1日体験しました。実習先はひだまり、桜の園、ジェイ・エス ステージ、第3ジェイ・エス ステージ、和、アルジス、グレース工房です。初めての体験実習で緊張したと思いますが、指導員さんや利用者の方々に丁寧に教えていただきながら実習を行うことができました。また、2日間の実習を行った京阪百貨店には公共交通機関を利用して行きました。「いらっしゃいませ」や「ありがとうございました」という挨拶に必要な笑顔、発声、お辞儀の角度等の練習から始まり、箱折りの後、直接売り場の店員さんからハンカチや靴下のパッケージ指導を受け、「働く」ことについて身近に体験することができました。

校外の実習は緊張を伴うものでしたが、やり遂げたことで大きな自信と次への意欲につなげることができました。2年生全員にとって、進路を意識するうえで貴重な経験となりました。



☆施設見学 (交野自立センター)

後期実習期間中に高等部1年生は、交野自立センターに行きました。生活介護・B型を中心に見学させていただくグループと、就労中心で見学させていただくグループの2班に分かれました。事業所の活動の様子を見学することで、卒業後の社会参加のイメージを掴み、今後の学習に結び付けることを目的として今回の活動を実施しました。係の方の説明を聞きながら、メモをとったり質問をしたり、真剣に話を聞く姿が印象的でした。今回の学習では一人ひとりが様々なことを感じたことと思います。とても有意義な時間を過ごすことができました。



☆寝屋川支援学校 交流会

○寝屋川支援学校との交流会 10月14日(金)

中学部3年生は進路学習の一環として、寝屋川支援学校との交流会を行いました。当日は寝屋川支援学校の体育館で、お互いの自己紹介や、ダンス発表後、4色オセロや、ジェンガ積みなどに共に楽しみながら取り組むことができました。中学部3年同士、交流を通してお互いの理解を深めることができました。

☆中学部3年生 進路学習

○グループ別進路学習 10月21日(金)

2グループに分かれて進路学習を行いました。Aグループは、軽作業、ミュージックケアをしました。普段から取り組んでいる個々に合わせた軽作業で、長い時間取り組みました。またミュージックケアでは、大きなボールを使った取り組みで、全員が参加でき有意義な時間になりました。長時間でしたが、生徒たちはとても集中していました。

Bグループは、社会福祉法人そうそうの杜 理事長 荒川輝男 様に来ていただき、座学と軽作業の体験をしました。軽作業では、実際に販売されている品物の組み立てや袋詰めなどを行いました。生徒たちは緊張してほとんど話をすることはありませんでしたが、作業はとても集中していました。授業後、「自分も働くのかな。」「高等部で実習頑張らないといけないな。」と働くことへの意識が高まりました。

○守口支援学校高等部の授業を見学 11月4日(金)

本校高等部の授業を見学しました。中学部にはないクリーニングや縫製、窯業といった授業も見学し、先輩たちの頑張っている姿を見ながら高等部進学にむけて意識を高めていました。

○作業所等見学 12月2日(金)

2グループに分かれて、作業所の見学と作業所が運営するカフェでランチを食べました。大阪府八尾市空港のCafé&Bakery Pica Picaと大阪府枚方市王仁公園のカフェ「なかなかの森」です。調理、陶芸、軽作業などを見学した後、カフェでランチを食べました。陶芸の仕事やウエイターの姿に将来の自分たちの姿を重ねた人もいました。

☆PTA施設見学会

11月16日（水）に就労移行支援の「りたりこワークス大阪京橋」と本年7月にオープンしたばかりの児童発達支援事業・放課後等デイサービスの「りたりこジュニア京橋教室」を参加者4名で見学しました。京阪京橋駅から徒歩3分。同じK2ビルの6階に「りたりこワークス」、8階に「りたりこジュニア」があります。

まずは、「りたりこワークス」さんの様子を見学させていただきました。利用者さん一人ひとりの長所や意欲に着目し、個々の可能性を最大限に引き出す就労移行支援の取り組みによって、自信をもって就労することをめざされています。利用者さんの年齢層は20代～40代が多いですが、50代、60代の方もおられ、状況や目標、スキルに合わせて取り組むカリキュラムを計画されているとのことでした。見学の際、自主訓練として、PCプログラムに取り組みまわたり、「ストレスコントロール」の解決思考アプローチの講義を受けておられました。

ワークス見学後、「りたりこジュニア」さんの教室へ移動し、各事業内容を丁寧に説明していただきました。ジュニア教室の内装はとてもカラフルなファシリティー（設備）で子どもたちが通うことが楽しくなるような明るく、居心地の良い雰囲気でした。

「りたりこジュニア」さんは受給者証を持つ（取得見込み）0歳～18歳までのお子さまを対象に一人ひとりの得意不得意や生活場面で困っていることに対して、ご家族と一緒に総合的なサポートを提供されています。ソーシャルスキルの指導、自立に必要な学習指導、身辺自立に関わる悩み等に対して専門的なアプローチをされています。

そして、発達が気になる子どもを育てるお父さん、お母さんが将来期待をもちながら安心して子育てができるようにと、みんなでつくるポータルサイト「LITALICO 発達ナビ」をスタートされました。様々な障がいに関する情報や子育ての困り事を解決するために必要な情報を提供されています。見学された方の中にも、そのサイトをご覧になった方もおられ、事業所さんと有意義な意見交換をすることができました。

○保護者の感想○

就労移行支援の「りたりこワークス」、児童発達支援の「りたりこジュニア」、共に利用者それぞれの状況・能力に合ったプログラムでスキルアップをはかり、就職・通園・通学をサポートしていることがよくわかりました。わが子の今の状況から、特に「りたりこジュニア」の方に興味を持ちました。学校の授業、病院や療育園の訓練とはまた違ったアプローチでスキルアップのための学習ができそうです。PCの発達障がいポータルサイトも運営されていて、気軽に相談や情報収集できていいと思います。まだ関西では教室が大都市だけなので、これからはもっと増えてほしいと思います。

☆同窓会

11月6日（日）、秋の同窓会が行われました。当日は好天に恵まれ、同窓生・保護者合わせて100名ほどの参加がありました。会長のあいさつの後、みんなの近況を聞きながら、お弁当やお菓子を食べました。

食事のあとは、クイズ大会やレクリエーションをして楽しみました。クイズの中には難しい問題もありましたが、みんなで相談しながら答えを導き、正解して大喜びしていました。レクリエーションでは、玉入れとじゃんけん王決定戦を行いました。玉入れでは紅白チームに分かれ、在学時以来の玉入れに大興奮で、とても楽しみながらカゴにむかって玉をたくさん投げました。

そのあとは、恒例のビンゴゲーム。数字が発表されるたびにワクワクドキドキ、あちこちから歓声があがりました。たくさんの笑い声や、チャレンジして勝利した喜びの声などが、体育館に大きく響き渡りました。ビンゴして景品が当たった人は満面の笑顔で喜んでいました。

最後は全員で写真撮影をし、次回の再会を約束して閉会となりました。



もりもりギフト

ご購入ありがとうございました！

「もりもりギフト」は守口市内の福祉事業所で働く障がいの皆さんが、心をこめて制作している品々です。皆さんからの温かいご協力の売り上げが、事業所で働く利用者さんのボーナスとして支払われています。今回も全校の保護者・教職員の方にお知らせし、66個、約7万円の購入をしていただきました。

ご協力ありがとうございました。

